
香港

明石 葵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

香港

【Nコード】

N9505K

【作者名】

明石 葵

【あらすじ】

あの人が私の前からいなくなって、8年。

貴方に逢いに行こうと思った・・・

(前書き)

初、cccさくらなので、下手ですが、お許し下さい。><

原作の、最終話が違うバージョンとして、お楽しみ下さい。

香港

あの人が生まれ育った街。今もこの街の何処かにあの人がいる。突然、私の目の前に現われて、突然、私の傍からいなくなったあの人。

あの人が私の『一番好きな人』だと気付いたときにはもう、私の傍にはいなかった。

あの人は、わたしを『一番好き』と言ってくれた、だから、今度は私があの人への許へと向かう。

そう決意してきた。

でも、あの人は、一度も日本に戻っては来なかった。

もう、私を何とも思っていないのかも知れない。ここへ来て、そう思った。

この街は、貴方と同じにおいがして好き。

でも、それと同時に、貴方の遠さを感じるから嫌い。

ここの公園は昔、二人でよく来た公園に似ている。

あの頃も、桜が満開で、舞い散る花びらが、桜色のカーテンみたいに綺麗だった。

貴方との思い出が多すぎて、ここにすることが、辛い。

この街の何処かにいる、貴方と逢って、この思いを伝えれば、楽になるのかな？

もしそうだととしても、私はできない。何故なら、貴方はそんな事望まないから。

貴方は、自分がどんなに辛くても、他人を大切にしようなひとだから。

だから私は言わない。でも、言わない換わりにもう少し、貴方がいる香港にいてもいいかな？

そうすれば、貴方にこれから逢わなくても大丈夫。

貴方を思わずにはいられないだろうけど、貴方の重荷にならないようにすることはできる。

だから、少しだけ、貴方のおいがする場所にいさせて？

すぐに、貴方から離れて、日本に帰るから。

あと少しだけ・・・

家の近くの公園にある、一番大きい桜の木を見ていた。桜は、アイツを思い出すから。

ふと、懐かしく恋しい気配がしたような気がして、周りを見渡した。すると、池の方に、ずっと逢いたくてたまらなかった貴女ひとがそこにいた。

逢えた嬉しさと、何故ここにいるのかという疑問で、身体が止まっていた。

アイツは全くこちらに、気付いていないようだ。声をかけようと歩を進めた瞬間、アイツは天空そらを見上げて、涙を流していた。

その姿があまりにも、美しく、甘く切なかつたので、自分の知っている貴女ひとでは無いように思えてしまった。

「さあ、もう帰ろうか・・・」

そう言つて、涙を拭つて帰ろうとしたら、桜の木の下に、たった今、もう逢わないと決めた貴方ひとが立っていた。

「小狼君・・・?」

そうつぶやくと、貴方は嬉しそうに微笑んだ。

「・・・さくら」

アイツの名前を呼ぶと、今までの思いが溢れたように、身体が動いていた。

「さくら。ずっと逢いたかつた・・・」

そう言いながら、さくらを抱きしめていた。

「・・・小狼君。私ね、『一番好きな人』見つけたんだよ・・・」

その言葉を聞いて、俺は正気に戻つた。さくらの気持ちも聞いてなのに、抱きしめていた。

そう考えたら、その話の続きは聞きたくなかつた。

「あの、ね、小狼君。私の、『一番好きな人』は・・・小狼君だよ」

少しの間があつて、言葉の意味を理解したら、さつきよりも、ずっと強く抱きしめた。

「ずっと離れてる間、さくらが好きだつた・・・」

ありがとう。ずっと好きでいられてね。・・・

(後書き)

初のcccさくらでした！(初の短編です)
気に入って頂ければ光栄です。

またこんな風にコナン以外の話も書ければと思います。(コナン頑
張らないとですが・・・)

それでは、最後までお付き合い頂きありがとうございました!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9505k/>

香港

2010年10月11日17時57分発行